



宮崎県立日南くろしお支援学校



所在地 〒887-0034 日南市大字風田 4030 番地

電話番号 (0987) 23-9212

FAX番号 (0987) 23-9207

ホームページアドレス <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/9936/htdocs/>

1 在籍者数、学級数 (平成29年5月1日現在)

		小学部		中学部		高等部		合計	
学級数		11		7		14		32	
通学生数	訪問生数	30	3	21	4	35	13	86	20
児童生徒数計		33		25		48		106	

2 学校及び学部の特徴

本校は、昭和53年に知的障がいのある小・中学生を対象とした養護学校として設立されました。平成16年4月には高等部が設置され、平成20年4月に現在の日南くろしお支援学校に校名が変更されました。「今日に満足して、明日を楽しみにする学校生活」をスローガンに、毎日元気で明るく学校生活を送っています。学部構成は、小学部と中学部、高等部の3学部からなり、病気や障がいの状態により通学して授業を受けることが難しい子供たちに対しては訪問教育を行っています。

学校の大きな行事としては、5月に体育祭、10月に学校祭が行われます。また、今年度は学校創立40周年を迎え、記念式典を10月に行う予定です。



[体育祭]

【学校教育目標】

「自立を支援する教育を通して、生きる力と豊かな心を培い、自立し、社会参加する心身ともに調和のとれた人間の育成を図る」

【授業の特色】

日常生活の指導

生活の流れに沿った指導を通して、衣服の着脱や手洗い、排泄、食事などの基本的な生活習慣や、挨拶、言葉遣い、きまりを守るなど社会生活に必要な能力を身に付けます。

生活単元学習

季節のイベントや学校行事など、実際の生活に基づいた内容を単元化し、児童生徒が自然な生活の中で自立的な生活に必要な知識・技能の習得を目指します。

自立活動

障がいの状態を考慮して、一人一人のニーズに応じた課題を設定し、個別指導を中心に行いながら自立を目指します。

教科別の指導

一人一人の発達段階に応じて、生活に即した活動を段階的に取り入れた指導を行っています。生活にいかせる内容を選定したり、集団構成を工夫したりして指導の充実を図っています。



[小学部の授業]



[中学部の授業]

【高等部の特色】

高等部は、平成 16 年度に開設され、現在知的障がいや肢体不自由がある 35 名の生徒（訪問生除く）が在籍しています。高等部では、将来の生きる力を身に付けることを目指して、職業生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を養うこと、社会参加の意欲と実践的な態度を育成することを目指しています。

作業学習

作業学習は、作業活動を学習の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な内容を総合的に学習します。本校は作業種目を、農業・手工芸・木工・ビルクリーニングの 4 種目設定し、週 11 時間作業学習に取り組んでいます。



[作業学習（木工班）]



[作業学習（手工芸班）]

産業現場等における実習

現場実習は、現実的な条件下で、生徒の職業適性を明らかにし、職業生活や社会生活での適応性を養うことを意図して実施しています。本校では、1 学期と 2 学期各 1 回実施しています。期間はそれぞれ 2 週間です。実習先は多岐にわたり、本人・保護者の希望や実態に応じて事業所、施設、作業所などでの実習を行っています。



[作業現場等における実習]

部活動

部活動として陸上部があり、フライングディスクや陸上競技など、目標をもって毎日練習に励んでいます。毎年、障がい者スポーツ大会に出場し、好成績を残しています。また、全国大会にも出場することもあり、すばらしい成績を収めています。



[部活動]

修学旅行

高等部 2 年生は東京方面に修学旅行に行きます。ディズニーランドに行ったり、自分たちで見学地を決める班別自主研修を行ったりします。普段経験することのできないことを体験できる貴重な行事です。



[修学旅行]

卒業後の主な進路先と先生からの送る言葉

卒業生の主な進路は、就職（スーパー、コンビニ等）、通所施設（ゆめや、おおぞら園等）、入所施設（つよし学園、愛泉会日南病院）等です。生徒の実態に応じて進路を決定していきます。本校は、将来（就労）に向けて自分のペースで勉強やスポーツに取り組むことのできる学校です。進路先の選択肢の一つとして是非参考にしてください。

過去 3 年の卒業生進路状況（平成 26 年度から平成 28 年度まで）

	入所施設	通所施設	進学	就職	在宅等	病院	合計
H26	2	4		7		1(1)	14(1)
H27		5		6	2	7(7)	20(7)
H28		3				5(5)	8(5)

※（ ）は訪問教育学級児童生徒数内数